

平成28年度 事業報告

1 概況

我が国においては、景気の緩やかな回復に加え、少子超高齢社会を迎え、現役世代の労働力不足と相まって、平成28年の有効求人倍率は、25年ぶりの高水準となった。

併せて、労働力人口が減少する中、就業する機会を提供するシルバー人材センターの役割は、人手不足分野や介護などの現役世代を支える分野で、これまで以上に重要となっている。

このような中、本センターの平成28年度受注状況に関して、まず、請負契約にかかる受注件数は、特に個人からの受注が減少したことなどにより、22,653件となり、前年度に比べ1,328件、5.5%の減少となった。

また、受注金額は、民間事業者や個人からの受注の減少により、642,046千円となり、前年度に比べ19,451千円、2.9%の減少となった。

一方、派遣事業にかかる受注件数は、1,266件となり、前年度に比べ151件、13.5%の増加となった。

また、受注金額は、114,103千円で、前年度に比べ20,176千円、21.5%の大幅な増加となり、これらを加えた本センター全体では、受注件数は、23,919件、前年度に比べ1,177件、4.7%の減少になったものの、受注金額は、756,149千円で、前年度に比べ微増となり、受注は堅調に推移した。

また、会員数については、継続雇用制度運用の影響などから、平成28年度末で1,812人となり、前年度末に比べ42人、2.3%減少した。併せて、就業者数は、個人からの受注が減少したことなどにより1,458人となり、前年度と比べ、42人、2.8%減少した。

具体的な施策では、一層の会員の加入促進を目指し、就業相談や入会説明会を実施するとともに、香川県シルバー人材センター連合会と連携しシルバーフェアの開催や、高松市共同募金委員会からの新たな助成を受けて「遍路への観光案内・お接待事業」、さらには街頭啓発活動の実施など様々に工夫を凝らしながら、本センターの周知啓発に取り組んだ。

また、昨年10月から、新たに介護保険制度要支援者等にサービスを提供する介護予防・日常生活支援総合事業（新総合事業）を開始するとともに、国の「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」の活用や、「地域就業機会創出・拡大事業」（剪定枝葉等リサイクル事業）の実施、また、派遣労働会員のキャリアアップを図るため教育訓練の推進など、積極的に就業の拡大に努めた。

一方、安全就業に関しては、シルバー保険の適用となる事故が、平成28年度は、前年度に比べ大幅に増加したことから、事務局だよりなどを通じた安全就業の意識啓発を始め、安全講習会や職場安全パトロール、事故を起こした会員を対象とした特別研修の実施など安全就業の推進に取り組んだ。

また、適正就業に関しては、「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」の周知や、長期間、同一職場に就業する会員を対象に適正就業を徹底したほか、会員の意識向上や、特に、不適格な行為を行った会員に対し、適正就業推進委員会での厳正な処分の実施など適正就業の推進に努めた。

併せて、新たに遅延未収金回収要綱を制定し未収金の迅速・着実な回収を図るとともに、南部地区センターを旧香川保健センターへ移転するなど、関係団体とも連携しながら、将来を見据え、本センターの円滑・着実な事業運営に努めた。